

公益社団法人日本青年会議所 2023 年度 基本方針	
滋賀ブロック協議会 会長 芳田 真史	
ブロック協議会の夢	SHIGA ⇄ JAPAN 顕在力を受信・潜在力を発信できる滋賀の創出 滋賀県は古来より先進的な理念をもつ経済圏であり、共通のアイデンティティをもつ潜在力と結束力のある地域です。蓄積された地域の特色を県外へも浸透させ、県外との交流から新たな思想や情報を流入することで、さらなる力を手に入れ、地方経済の模範となる地域として発展します。
ブロック協議会の役割	ブロック協議会内の意見を連絡調整し、本会からの情報を円滑に取り込み、JC 運動の進展に寄与するための LOM の支援であると考えます。日本、そして世界を意識した環境を県内に創り出し、発展と成長の機会を生み出します。
ブロック連携事業 (政策手法)	1.LOM が躍動するための新たな支援モデルの構築 2.ブロックアカデミーの支援・推進
ブロック協議会が 選択する事業	1.新たな価値をデザインする企業を創出する事業の企画・実施 新たな価値をデザインする企業を創出するために、他世代の価値基準の変化に気づき、そこから生まれる世代による違和感を覚え、視点を変化させることで、新規企業の発足や、既存産業への依存からの脱却につながります。 2. 有事に備えた災害ネットワークの強化に関する事業の実施 有事に備えた災害ネットワークの強化をするために、県外での取り組みを知り、必要な情報を取得できる環境を整え、発信し、関係各所につなげる仕組みを取り入れることで、地域のコミュニティを強化させることにつながります。
ブロック独自の 事業	2.第 53 回滋賀ブロック大会守山大会 滋賀ブロック協議会の運動をより効果的に展開していくために、一年間の運動の集大成を表し、関係諸団体や県民などの理解を得るとともに、ブロック協議会の最大の運動を県内だけではなく県外を見据え発信することで、JC の価値を高めることにつながります。 2.リレードセレモニー実施 2023 年度滋賀ブロック協議会が 2024 年度に運動を引き継ぐために、県内 LOM メンバーが集う場において 2023 年度を締めくくり、2024 年度役員団並びに協議会運営や意気込みについて周知することで、滋賀ブロック協議会の運動に対してメンバーの意識を鼓舞することにつながり、2024 年度が力強く踏み出していくことができます。 3. SNS を利用した運動発信の実施 JCI 日本の運動や情報を円滑にメンバーが取得できるために、情報を明白に分解し、伝え方を工夫することで、メンバーの新しい価値観や力につながります。 4.アカデミー事業の実施 アカデミー生の状態で JC 活動に早期に能動的に取り組む姿勢を育むために、苦楽を共にするトレーニングを行う事業を通じて JC 運動に対する理解が深まることで、メンバーの資質の向上につながります。
ブロックによる LOM 支援の 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 各理事長との対談を定期的に行い、また効果的な公式訪問を行います。 全メンバーに対して、滋賀ブロック協議会が行う事業や近畿地区協議会、JCI 日本に興味をもっていただけの運営方法や情報発信を、各種 SNS や HP を活用して行います。 入会制度、運営方法等の情報提供や組織改革についての運動の取り組みについての支援を行います。 メンバーの挑戦意欲の向上のため、前向きに取り組める環境を整備し、新しい価値観を提供します。 理念共感拡大ブランドデザインを実践活用し、アカデミー生だけではなく全体に理念を浸透させ活性化

化を図り、持続的な会員拡大活動につなげます。

・全メンバーに対して、滋賀ブロック協議会や近畿地区協議会の事業や運動についての情報を理解しやすく興味が沸くように伝えます。

・各 LOM の例会や事業例、運営方法についてブロック協議会が情報収集、共有し各 LOM が他 LOM の成功事例を取り入れやすい環境を整えます。